

第50回

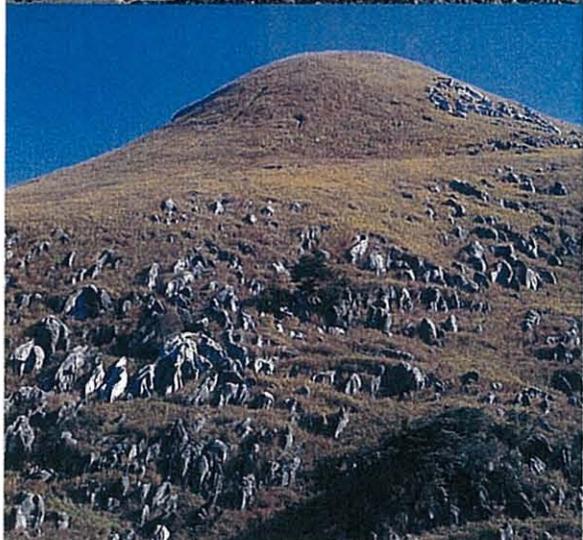
全日本登山体育大会 福岡大会 開催要項

悠久二百万年神仏降臨 荘厳神秘縄文と人間のかかわり

日本3大霊場 英彦山・北部九州のカルスト台地と
山伏が歩いた秋峰コースを辿る

期 日 平成23年10月28日(金)～30日(日)

会 場 北九州市、添田町、直方市、福智町、香春町、苅田町



主催 (社)日本山岳協会

共催 北九州市・北九州市教育委員会

主管 福岡県山岳連盟

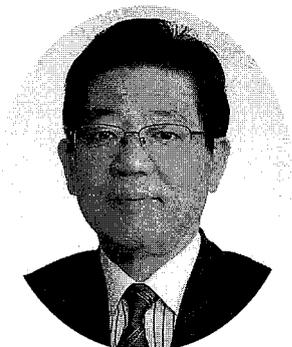
後援 文部科学省・ (財)日本体育協会・福岡県・

添田町・直方市・福智町・香春町・苅田町・

各教育委員会・体育協会・

(財)西日本産業貿易コンベンション協会

ごあいさつ



北九州市長 北橋 健治

全日本登山体育大会の記念すべき第50回大会が、本市の平尾台や福岡県内各地の山々で盛大に開催されますことをお喜び申し上げます。あわせて、全国各地から北九州市にお集まりいただいた登山愛好者・役員の皆様を心から歓迎します。

北九州市では、生涯にわたり楽しめるスポーツの振興に取り組んでいます。こうした中、登山は、四季折々の景色を楽しみ、自然への愛着を深め、体力の向上や健康の増進にもつながるすばらしい生涯スポーツです。特に仲間と山頂まで登り、そこから見渡す風景は、何ものにも代えがたい達成感や爽快感があります。近年は、老若男女を問わず幅広い層で登山愛好者が増えており、今後ますます裾野が広がることが期待されるスポーツでもあります。

大会で日本有数のカルスト台地を誇る平尾台をはじめ、本市の自然を満喫していただくとともに、大正ロマンあふれる「門司港レトロ」、歴史を体感することができる「小倉城」、「小倉城庭園」、北九州・小倉の台所「旦過市場」など本市のさまざまな観光スポットにも足を運ばれ、是非、楽しい思い出を作っていただきたいと思います。

結びに、大会開催にあたり、ご尽力いただきました社団法人日本山岳協会をはじめ関係の皆様に深く感謝申し上げますとともに、大会のご成功と、皆様のご健闘を祈念いたします。

修験道のメッカ英彦山へようこそ



福岡県山岳連盟 会長 足 達 敏 則

第50回全日本登山体育大会が、カルスト台地と修験道英彦山で開催されることになり、全国から沢山の山仲間をお迎えする準備を進めています。

福岡県には、奥深い山地や高い峰々を持つ山はありません。しかし北九州の平尾台には、多数の鍾乳洞もあり、草原の中にドリーネが点在するカルスト台地があります。この最高峰、貫山は北面は富士山型の秀麗な姿をしていて、急斜面には常緑広葉樹が生い茂っています。南は緩い広々とした羊群原で、対照的な姿を見せています。

また福岡県で名高い山が英彦山です。出羽の羽黒山、熊野の大峰山と並び日本三大修験道の霊場として盛えてきました。伝説によれば、天照大神の御子、天忍穂耳命あめのおしほみのみことが天から降臨した峰とされ、日の御子の山、日子山（ひこやま）と言われていました。英彦山と人との関わりは、周辺で採集された多くの石器や土器が、縄文式土器時代前期のもので、かなり古い時代から人の営みがあったものと思われます。西暦700年ごろ役のえん おすぬ小角が日子山に登り、修験道の開祖として崇められました。これらの歴史から、英彦山は修験の場として、多くの人たちが山伏姿で土着の神々（自然）に詣でながら、自らの心身を鍛えました。そして生命の根源である自然や宇宙に対する畏敬を、山に宿る神仏への祈りという形で受け継いできました。それらの古い修験の跡や、山頂及び修験道のあちこちに祀られた神仏の祠、窟を拝み、古えの人々への思いに馳せて頂きたいものです。人里に近い山ですが、深山のたたずまいを見せる山で、動物は約2000種、植物は約1000種以上を数えるといわれています。

カルスト台地の平尾台、歴史ある修験道英彦山など、全国の山仲間の皆さんがそれぞれの思いを、堪能できることと思います。

この機会に全国各地から、多くの山仲間の皆さんのご参加を心からお待ちしています。

第50回全日本登山体育大会 福岡大会実施要項

「悠久二百万年神仏降臨荘厳神秘縄文と人間のかかわり」

大会目的

山に登拝修行する行為は、修験や仏教とかかわりなく民の中より起こった。山岳信仰の願心荘厳さを歩いて学び、英彦山が再び民の山として燃える大会とする。

1. 開催期日 平成23年10月28日（金）～30日（日）
2. 主催 （社）日本山岳協会
3. 共催 北九州市・北九州市教育委員会
4. 主管 福岡県山岳連盟
5. 後援 文部科学省・（財）日本体育協会・福岡県教育委員会・（財）福岡県体育協会・添田町・直方市・福智町・香春町・苅田町・添田町教育委員会・直方市教育委員会・福智町教育委員会・香春町教育委員会・苅田町教育委員会・（財）北九州市体育協会・添田町体育協会・直方市体育協会・福智町体育協会・香春町体育協会・苅田町体育協会・（財）西日本産業貿易コンベンション協会
6. 開催場所 北九州市 添田町 直方市 福智町 香春町 苅田町
7. 受付 開会式会場「北九州国際会議場」 電話 093(541)5931
8. 宿泊場所 西鉄インホテル小倉・電話 093(551)5454 他
福岡県立英彦山青年の家 電話 0947(85)0101

9. 日程

第1日目 10月28日（金）

- 11：30～13：00 受付「北九州国際会議場」
- 13：30～14：30 開会式「北九州国際会議場メインホール」
- 15：00～16：00 講演「神々の山（北部九州の山岳信仰）」
講師 森 弘子氏
- 16：30～18：00 歓迎レセプション
「北九州国際会議場イベントホール」
- 18：30～20：30 英彦山会場対象者 青年の家までバス移動

第2日目 10月29日（土）

- 5：30 朝食（弁当）
- 7：00～15：30 登山行動（長時間コースから順次出発）
- 15：30～17：45 下山後、バスにて移動（Fコースは16：00発）
- 19：00～19：30 閉会式 「小倉ステーションホテル」
- 20：00～21：30 お別れ会 「小倉ステーションホテル」

第3日目 10月30日（日）

- 7：00 朝食
朝食後自由解散となります。
- 9：00 オプションツアー出発（希望者のみ）
集合場所 小倉駅新幹線口 集合時間 8：40
（場所は図を参照）
北九州空港迄臨時バス出発（希望者のみ）

10. 登山コース（各コース55名）…（ ）は行動時間、☆難易度（最高★5つ）（休憩、食事を含まない）

Aコース 英彦山三岳縦走

（青年の家）北岳～中岳～南岳～鬼杉～玉屋神社～銅の鳥居 （約5時間）★★★★☆

Bコース 英彦山バードライン～中岳

（青年の家）三ヶ月池～奉幣殿～中岳～南岳～鬼杉～梵字岩～銅の鳥居（約5時間）★★★★☆

Cコース 英彦山表参道

（バス移動）銅の鳥居～中岳～南岳～鬼杉～梵字岩～奉幣殿～銅の鳥居（約5時間）★★★★☆

Dコース 英彦山 霊場巡り

（バス移動）銅の鳥居～十六羅漢～銅の鳥居～嶺の廟虚空蔵窟～弁財天～銅の鳥居
（約3時間30分）☆☆☆☆☆

Eコース 平尾台（北九州）

（バス移動）吹上峠～貫山～青龍窟～茶ヶ床～平尾駐車場 （約5時間）★★★★☆

Fコース 秋の峰入りコース（北九州）

（バス移動）安入寺（龍王峽）～尺岳～福智山～焼立山～満ち干越え～鮎返不動尊
～香春町後入道 （約6時間）★★★★★

《登山の留意事項》

1. 参加者は各自で大会中の飲み物、行動食、非常食を準備して下さい。
なお、下山する迄自動販売機等はありません。
2. 大会2日目(10月29日)の朝・昼食は弁当を配付致します。
3. コース中トイレは有りませんので、携帯トイレを持参して下さい。
4. コース中の水場は衛生上責任がもてません。飲み水は持参して下さい。
5. 大会開催地は国定公園です。自然保護につとめて下さい。

11. 参加資格

都道府県山岳連盟(協会)より推薦を受けた者。

社団法人日本山岳協会の役員、参与及び賛助会員。

地域の登山普及を図るため、主催者が特に認めた者。

参加者は、「日本山岳共済保険」に出来るだけ加入するようにして下さい。

(1) 参加申込み

- ① 参加者は、最終ページ「参加申込書」に必要事項を記入し、記載責任者押印の上「参加費振込みの控え」又はコピーを添えて、タイガートラベルに送付かFAXして下さい。

(株)タイガートラベル

〒803-0186 北九州市小倉南区新道寺469-1

TEL093-453-1717・FAX093-453-1555 担当 ^{イキ} 壹岐・荒木(壹岐不在の時)

平日・土曜日 9:30～18:00 日曜・祝日 休業

- ② 記載責任者は、「参加申込書」のコピーを所属山岳連盟(協会)に提出して下さい。

(2) 参加費の納入先

指定金融機関：福岡銀行 小倉支店	西日本シティ銀行 徳力支店
口座番号：普通預金 2679593	普通預金 0934457
口座名義：株式会社 タイガートラベル	

振込みの際の注意

振込手数料は参加者負担とさせていただきますのでご了承ください。

振込限度額が金融機関により設定されていますので、事前にご利用金融機関にて確認されることをお勧めいたします。

現金書留での支払いも可能です。株式会社タイガートラベルへ「全日本登山大会御中」と明記の上お送り下さい。

送付先 〒803-0186 北九州市小倉南区新道寺469-1
(株) タイガートラベル

(3) 申込み期間 平成23年6月29日(水)～平成23年8月29日(月)

※ 定員になり次第締め切ります。(定員330名)

(4) 参加費 33,000円(宿泊費、全食費、大会中の輸送費、記念品、保険料を含む)

(5) コース希望については、人数によって調整することもあります。必ず第2希望まで記入してください。

締め切り後、タイガートラベルより決定内容の通知を9月15日(木)までに差し上げます。

(6) 参加費の返却について

特別の事情により大会への参加が不可能になった場合、次の取り扱いをします。

なお、返金精算は大会終了後となります。

① 参加費納入後、平成23年9月29日(木)までに参加の取り消し通知があった場合は参加費の90%を返却いたします。

② 前記①以外の取り消しについては、返却いたしません。

その他

大会運営に関する問い合わせは大会事務局へ。

[大会事務局]

〒802-0064 北九州市小倉北区片野4-11-6 鴨粕 徹

携帯電話 090-9603-7784

TEL・FAX 093-951-0679

飛行機、JR、大会終了後のオプションツアーの問い合わせ・申し込みは、

「(株)タイガートラベル」まで。TEL093-453-1717 担当 ^{イキ} 壹岐・荒木(壹岐不在の時)

各都道府県岳連様へお願い

※岳連(協会)旗を10月17日(月)までに、大会事務局へ送付して下さい。

登山コースの案内

Aコース (英彦山三岳縦走)

北岳へは、青年の家前の自然歩道を左へ行く。25分ほどで豊前坊に出る。売店左の参詣道を登り、高住境内を右に抜けて15分ほどで左に望雲台（展望台）への分れに出る。石積みの道を急登し、木の階段を過ぎるとすぐに稜線鞍部に出る。右に直角に折れ岩尾根をしばらく登ると北岳（1192m）に着く。登山道を西へ下り、鞍部を過ぎて登り返すと中岳広場に出る。石段を登れば社殿のある中岳山頂。北岳より20分。

南岳へは、上宮前より南の石段を下る。鞍部から左へ南岳巻道があるが、ここを通過して5分程で南岳山頂、中岳より10分。

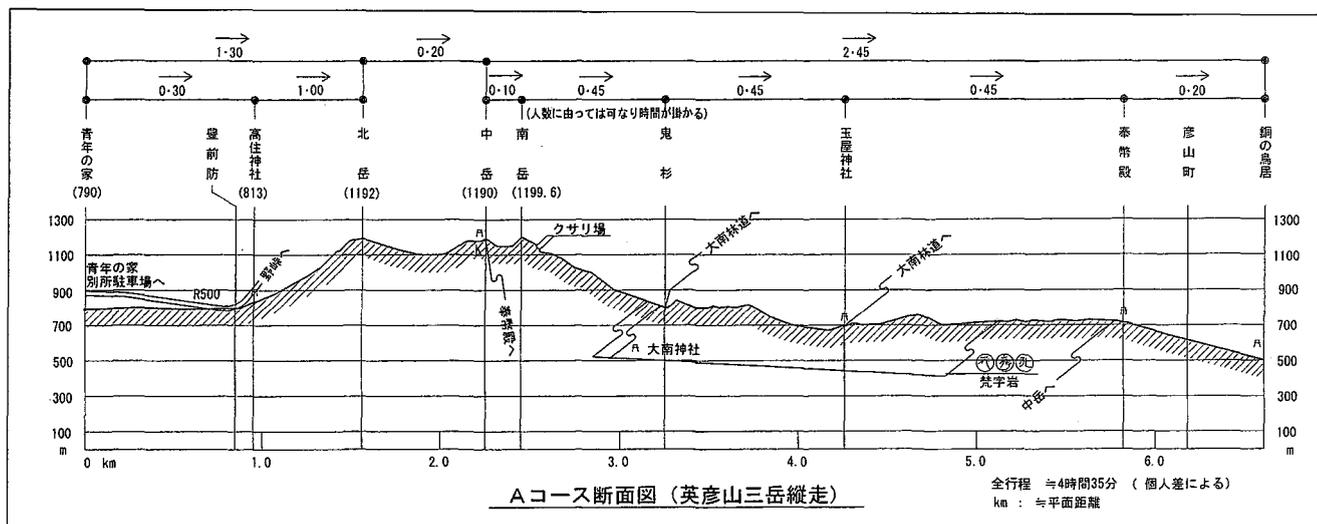
鬼杉へは、南の展望台の前を抜けて登山道を下る。急斜面の下り一方で、山頂より25分程下るとガレ場の右手に柱状節理（材木石）、15分で右奉幣殿への分岐、5分で鬼杉（樹齢1200年、国の天然記念物）に着く。

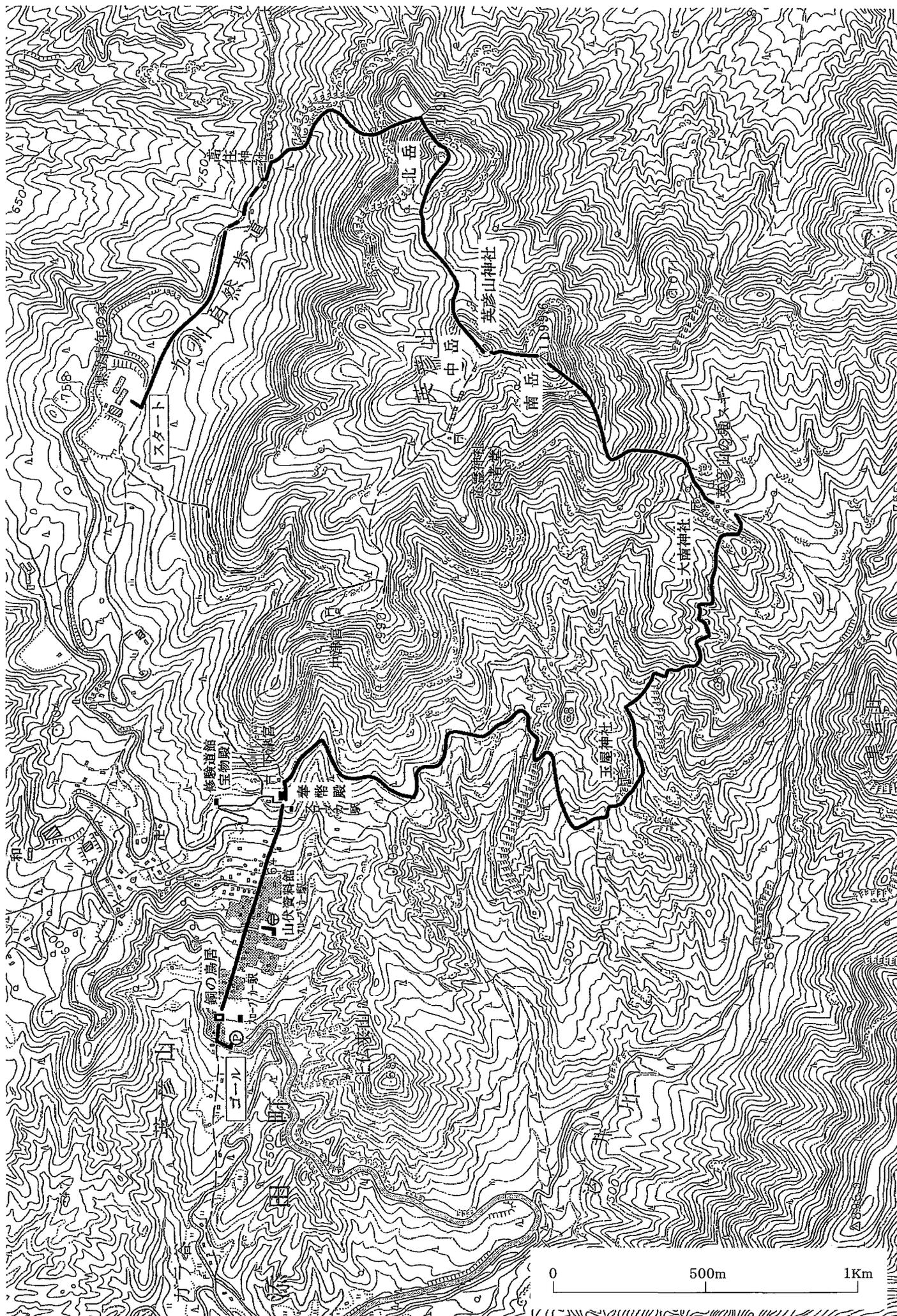
玉屋神社へは、鬼杉の下側を廻り込んで、急斜面を登り、尾根、谷と繰り返す、鬼杉より20分ほどで少し大きな尾根に出る。急斜面をジグザグを下り、10分程で沢に出る。沢を渡り、下り5分ほどで登山道右手に「嘉麻市」の標柱がある。これを過ぎると玉屋神社の社務所跡に出る。ここを右に30メートルほど登れば、摂社の玉屋神社。

奉幣殿へは、神社の前を抜けて右へ石積みの階段を登る。痩せ尾根からすぐに急斜面の下りとなり、杉林を進むと、右手後方に中岳上宮が見えて来る。更に進むと、右に南岳からの道と合わせ、大きな尾根に出る。尾根谷を廻り込んで15分で九大生物研究所の分れを過ぎて、途中左に広い道が下りているが、上部の細い道の方へ行き10分程度で「奉幣殿」。

銅の鳥居へは、参詣道の石段を下る。左右に坊や跡地を見ながら数分で石の鳥居が見えて来る。鳥居を潜れば土産店があり右別所駐車場からの道と交差。更に石段を下り左右に坊跡を見ながら石畳みを下れば、金銅製の銅の鳥居。奉幣殿より20分。

バス駐車場は国道へ出て左へ20メートル下る。





「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000（地図画像）を複製したものである。（承認番号 平22業振、第574号）」
 ※ 第三者がさらに複製する場合には、国土地理院長の承認を得なければならない。

Aコース（英彦山三岳縦走）

Bコース (英彦山バードライン～中岳)

中岳へは、青年の家広場前の森の中へ、九州自然歩道を右に行き緩い下りの途中（出発より5分程度）より左の踏み跡に入る。バードライン入り口より少し入り込むと急なジグザグの登りとなる。15分ほど頑張れば約900メートルライン、多少起伏はあるものの暫くは水平なバードラインとなる。谷筋を2箇所過ぎれば左手に野鳥観察小屋がありポッカ道に出る。ここから戻るように急坂を登る事15分で奉幣殿からの表参道に出る。5分で稚児落とし、10分で左手上部に下乗の石碑がある。豊臣秀吉の時代にここで入山料を徴収して、ここより如何なる人も乗り物を降りて歩いて参拝に登って行ったとの事。下乗より2・3分で行者堂。ここから参道に戻り幅広い石段を登り10分で中岳山頂。

南岳へは、Aコースの南岳参照。

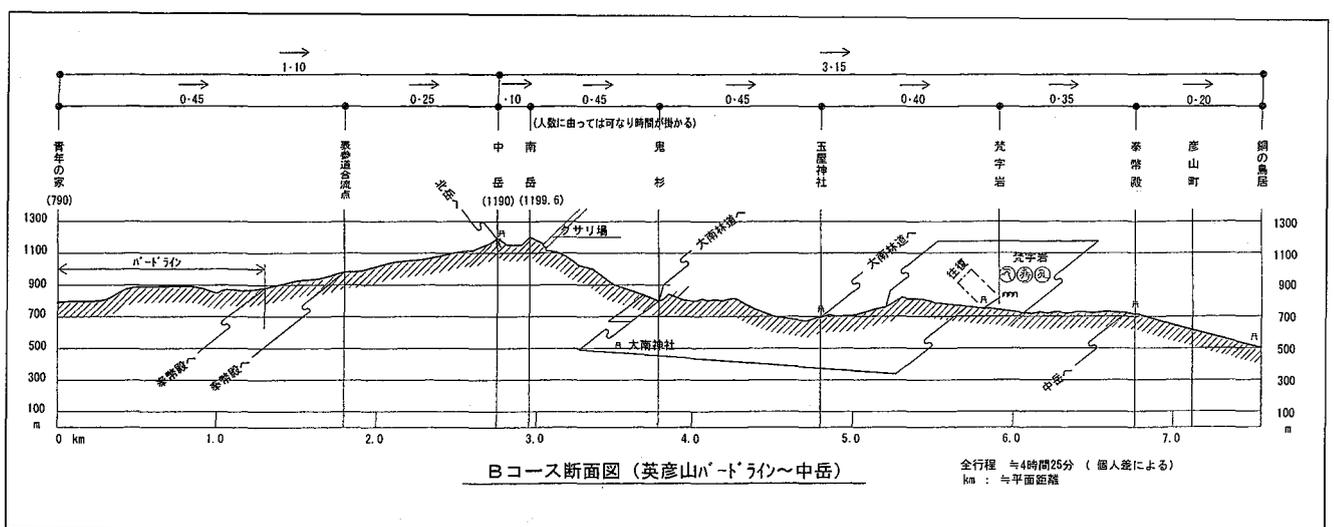
鬼杉へは、Aコースの鬼杉参照。

玉屋神社へは、Aコースの玉屋神社参照。

梵字岩へは、神社の前を抜けて右へ石段を登り3分ほどで痩せ尾根上に出るが、すぐにわりと急な斜面の下りとなり杉植林の間を鞍部へ。少し水平に行き徐々に登りとなり尾根上に出る。この尾根を右へ微かな踏み跡の荒れた杉林の中を登る。15分でPK811メートルへ登り詰める。山頂より東（前）へ踏み跡を辿り、5メートル程降りたら狭い両側が落ちた岩稜となり、岩稜を過ぎれば2分で南岳からの登山道に出る。左へ3分で木の鳥居のある梵字岩入口。ここから鳥居を潜って5分で梵字岩下に出る。

奉幣殿へは、下の登山道に戻り右へ10分で玉屋神社からの道と合流。右へ尾根谷を廻り込み九大生物研究所の分れを過ぎ、途中左に広い道が下りているが上部の細い道の方へ行き10分程度で奉幣殿。

銅の鳥居へは、Aコースの銅の鳥居参照。



Cコース (英彦山表参道)

銅の鳥居へは、車道を20メートルほど戻ると右に表参道の幅広い石の階段があり、大きな金銅製の銅の鳥居が見える。

奉幣殿へは、鳥居を潜り石畳の上を歩きながら、両側に今も残る宿坊や坊跡を横目で見ながら登り、銅の鳥居より約20分で奉幣殿。

中岳山頂へは奉幣殿の右横の石の階段を登り左90度に登り詰めれば、摂社の下津宮。右横の急な参道を登る事40分で、左小高い所に摂社の中津宮。少し平らな参道になり“ほっと”するがまた、すぐに急な登りとなる。20分で稚児落とし。ここより中岳山頂までBコース稚児落とし以下の説明を参照。

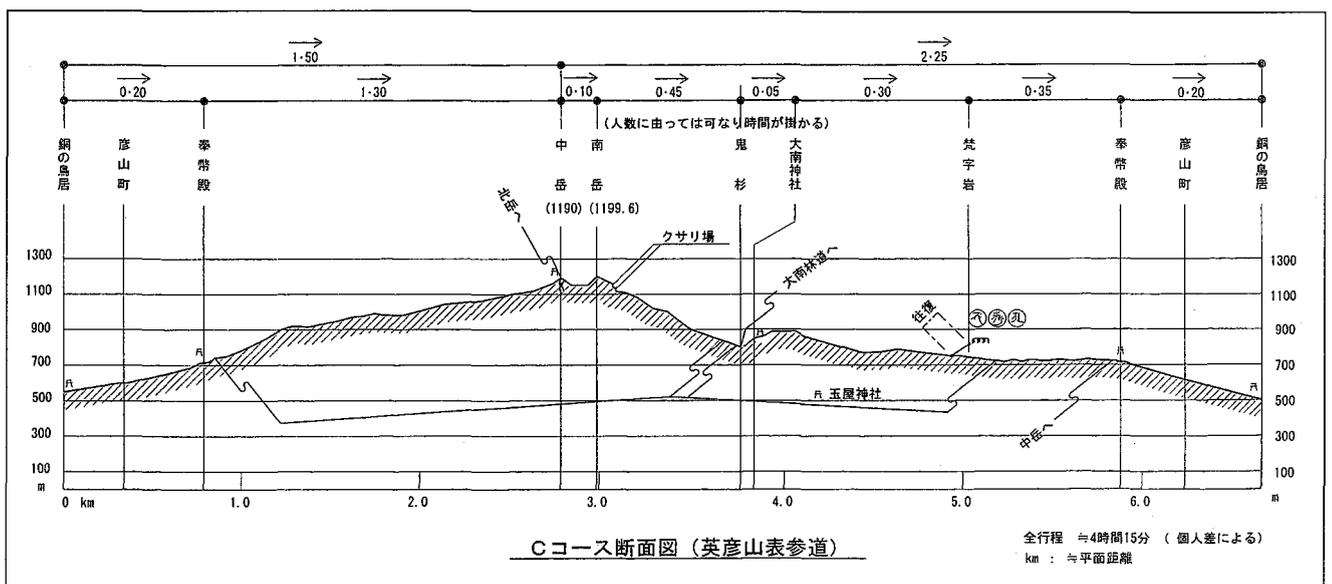
南岳へは、Aコースの南岳参照。

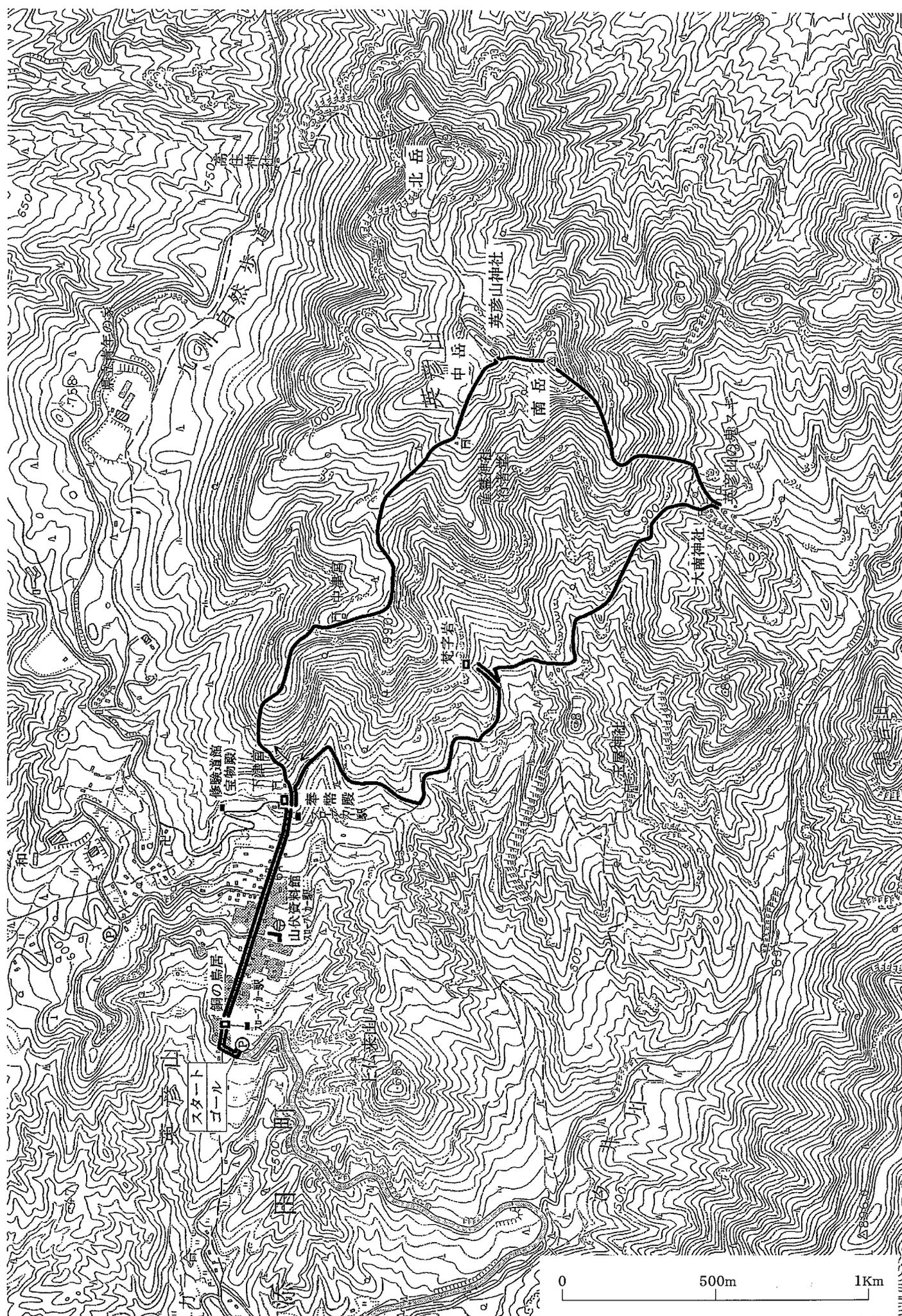
鬼杉へは、Aコースの鬼杉参照。

大南神社へは、登山道を10メートル程戻り左へ岩場を登る。木の階段、切込んだ階段を登れば5分で末杜の大南神社。ここより細い登山道になり、壁をトラバース気味に40・50メートル行けば南岳からの道に出る。左に行き小さな尾根を廻り込んだら高度差100メートル程急斜面を下るとわりと平坦になり衣が池に着く。沢を渡り廻り込み一登りすればPK811メートルの稜線に出る。ここより3分で木の鳥居のある梵字岩入口ここから鳥居を潜って5分で梵字岩の下に出る。

奉幣殿へは、Bコースの奉幣殿参照。

銅の鳥居へは、Aコースの銅の鳥居参照。





「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000（地図画像）を複製したものである。（承認番号 平22農地、第574号）」
 ※ 第三者が複製する場合には国土地理院長の承認を得なければならない。

Cコース（表参道～中岳）

Dコース (英彦山霊場巡り)

下佛来不動尊へは、駐車場から車道を下り大きな看板を左に入る。坊跡の石垣を通過し、左の急な階段を上ると下佛来不動尊。

十六羅漢へは、下佛来不動尊の分岐を右に登ると3分で十六羅漢。

魚観音・銅の鳥居へは、駐車場より車道を20メートルほど上ると右に銅の鳥居が見える。鳥居手前の右奥の小さなお堂が魚観音。

役行者（役小角）へは、銅の鳥居をくぐり、表参道を登る。別所駐車場からの道を過ぎて石の鳥居を抜けると、左に石の宝塔がある。右へ入り、右側のガードレールの終わった所より登山道に入る。3分ほど行き玉屋神社への分れ道に入ると、すぐ右上の岩棚に役行者像。下から見えない上、案内板もないので見落とさないように。

金石地藏へは、役行者より登山道に下りて3・4分で道脇の岸壁をくり貫いた中にある。

嶺の廟（墓地）へは、金石地藏より登山道を上り、枯れた鈴竹の中の少し広いわき道を辿る。登山道より1分。

学文舎（文殊窟）へは、登山道に戻り右へ3分で広い道に出る。右へ5分進み、右の石段を下り、よじ登れば学文舎。お堂の中に文殊菩薩。

虚空蔵窟（智室窟）へは、登山道に戻り右へ3分で虚空蔵分れに着く。左の石垣の間を上った台地の左奥に虚空蔵が祀られている。

奉幣殿へは、嶺の廟の分岐を過ぎ、上部の細い道を10分ほどで奉幣殿。

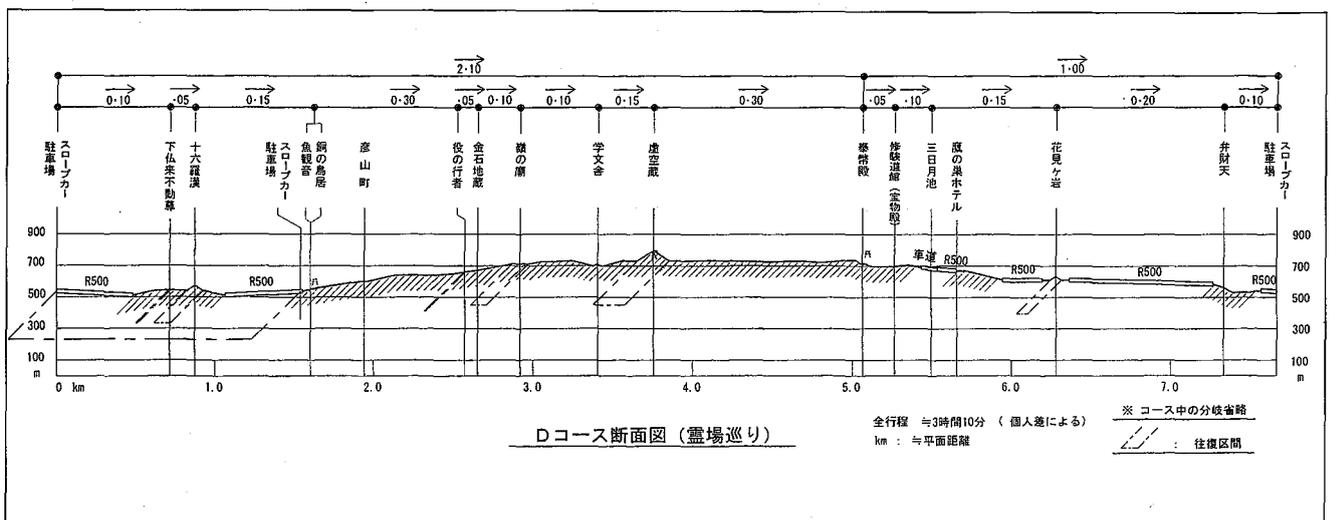
修験道館（宝物殿）へは、奉幣殿左横を抜けて坂を下る。

三日月池へは、宝物殿左側を抜けて奥の細い踏み跡に入り、倒木をくぐり抜け舗装道を右へ行く。

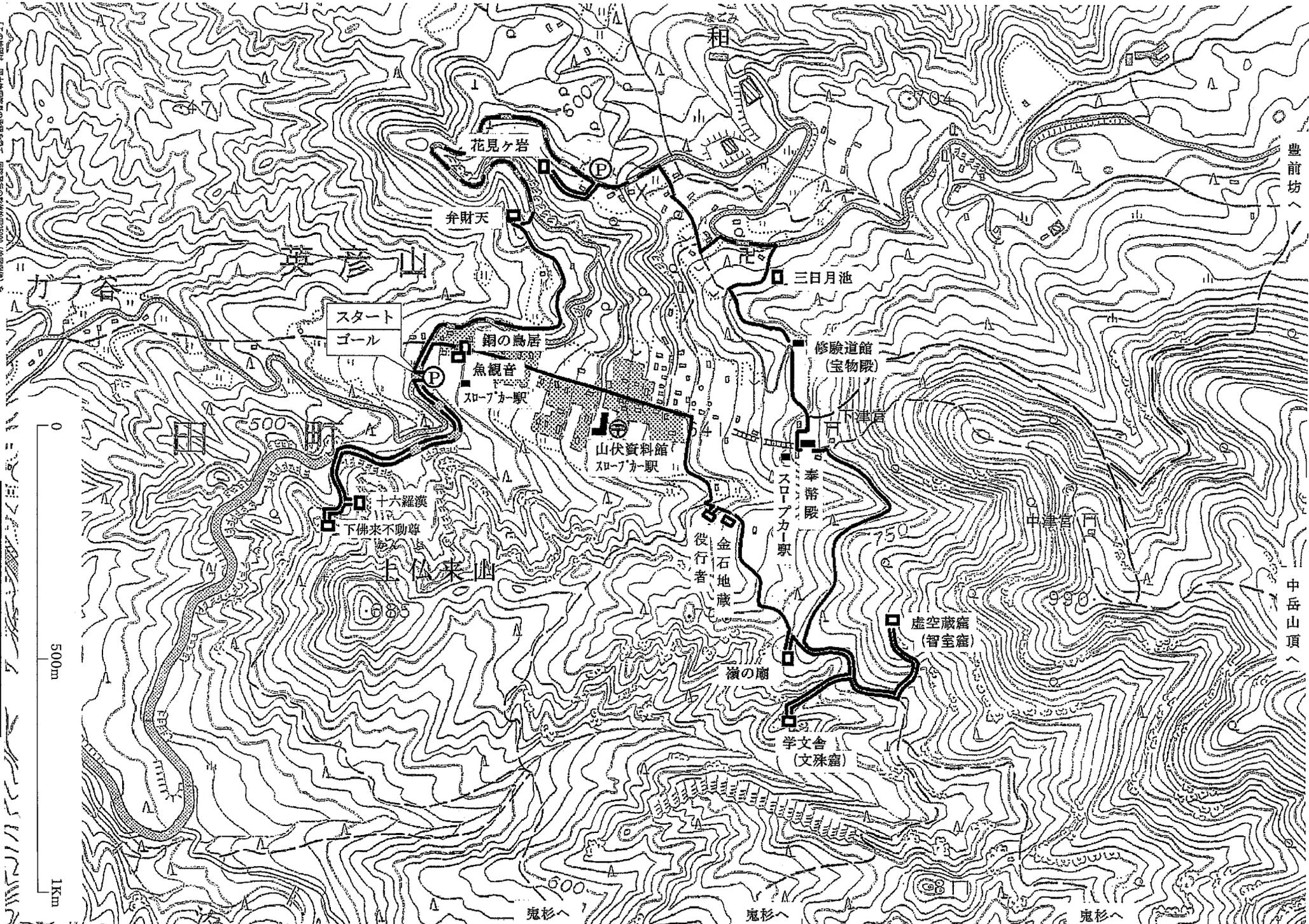
花見ヶ岩へは、国道に出て左に下り別所駐車場に出る。左側トイレ手前の石碑の横の階段を上ると、石窟に金比羅大権現が祀られている。

弁財天へは、トイレから国道を左に下ると、右側に菩提樹入口の看板がある。右へ下ると弁財天。

駐車場へは、弁財天前を谷下へ荒れている道を下り、緩く上れば国道。左側に銅の鳥居、スロープカー駅下駐車場に出る。



この地図は、国土院の承認を受けて、図解発行の地形図25000（本図）を
 複製したものである。（承認番号 平野測地 第574号）
 ※ 第三角の測量する場合には、国土院の測量法の承認をなければならない。

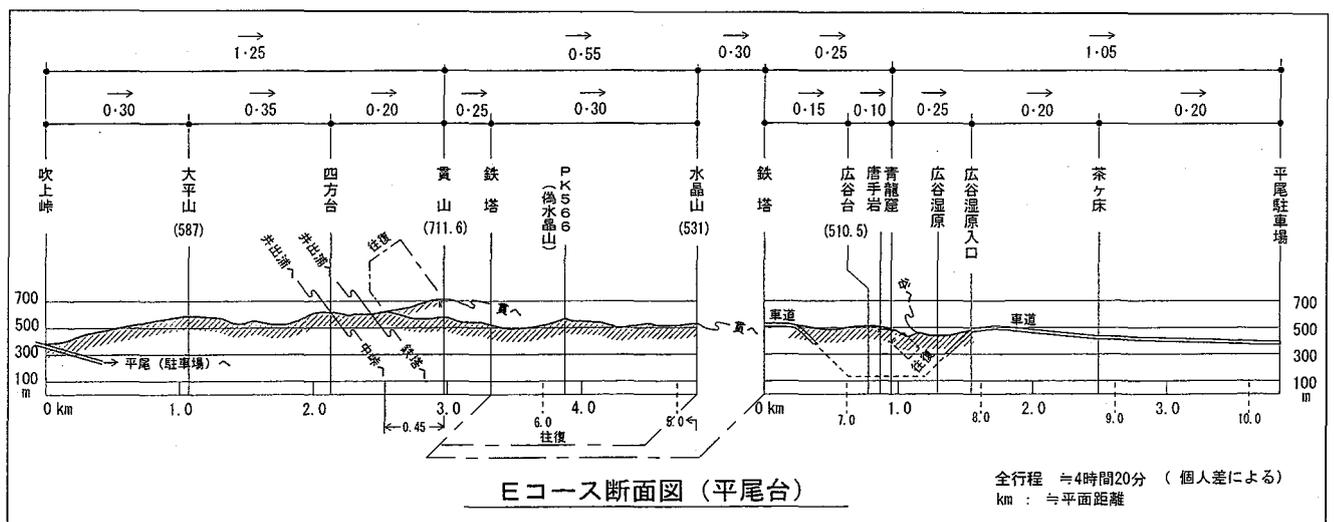


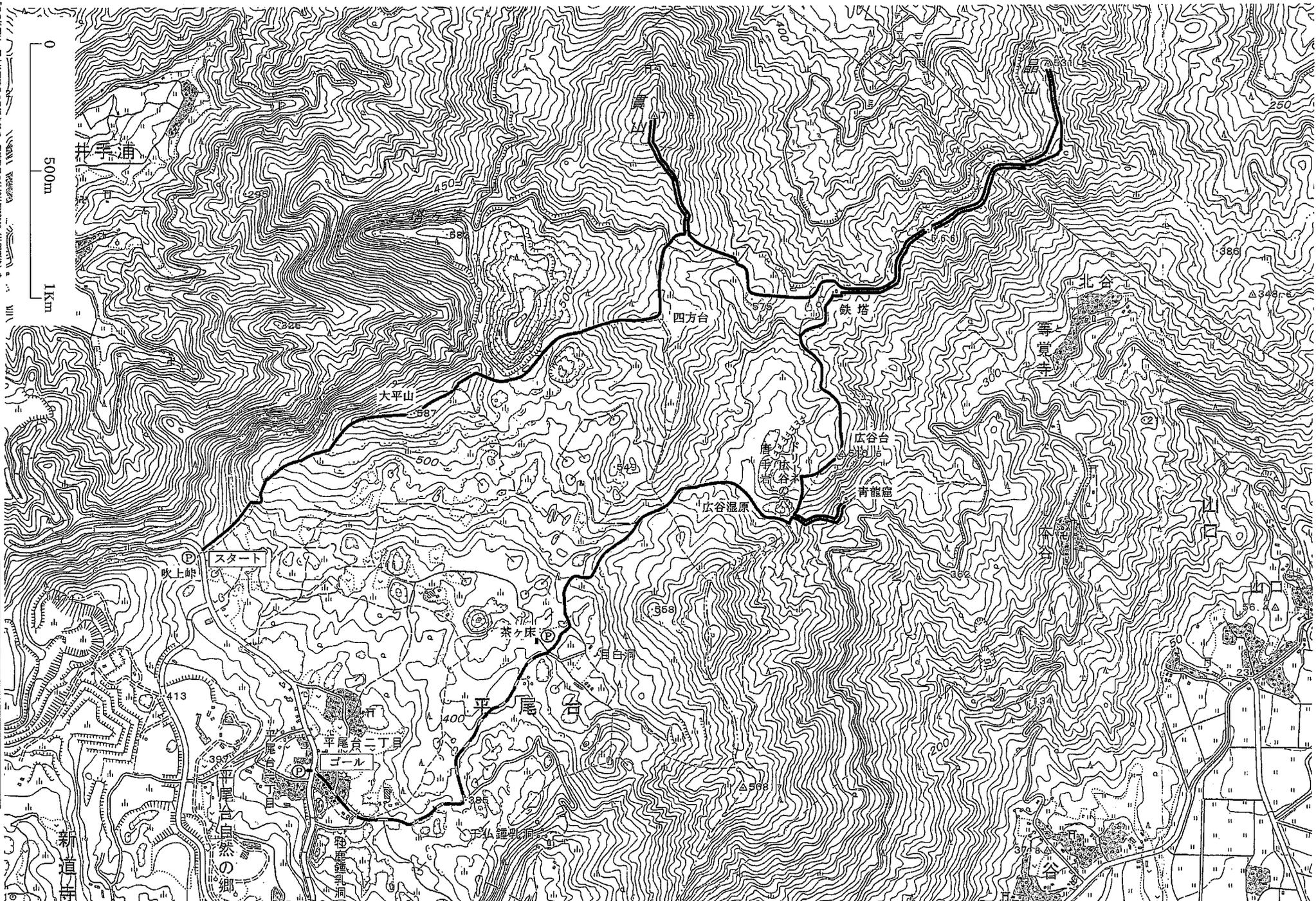
コース (英彦山垂場巡り)

Eコース (平尾台)

小倉南区の南東部から行橋市、苅田町、香春町、みやこ町にわたる南北6キロメートル、東西2キロメートルのカルスト台地である。石灰岩は約3億年前にサンゴや有孔虫により形成され、隆起した後侵食を受けたものだが、花崗岩の貫入による熱変成で再結晶しているため岩中に化石は残存していない。北東部はカレンフェルト（溶食により岩溝（カレン）が発達して石灰岩柱が樹立した地形）の形成された裸出カルスト、東部と南西部は表土に覆われた被覆カルストとなっている。千仏洞、牡鹿洞、青龍窟、目白洞、光水洞などの鐘乳洞があり、洞内からはナウマンゾウやオオツノシカ等の化石が発見されている。

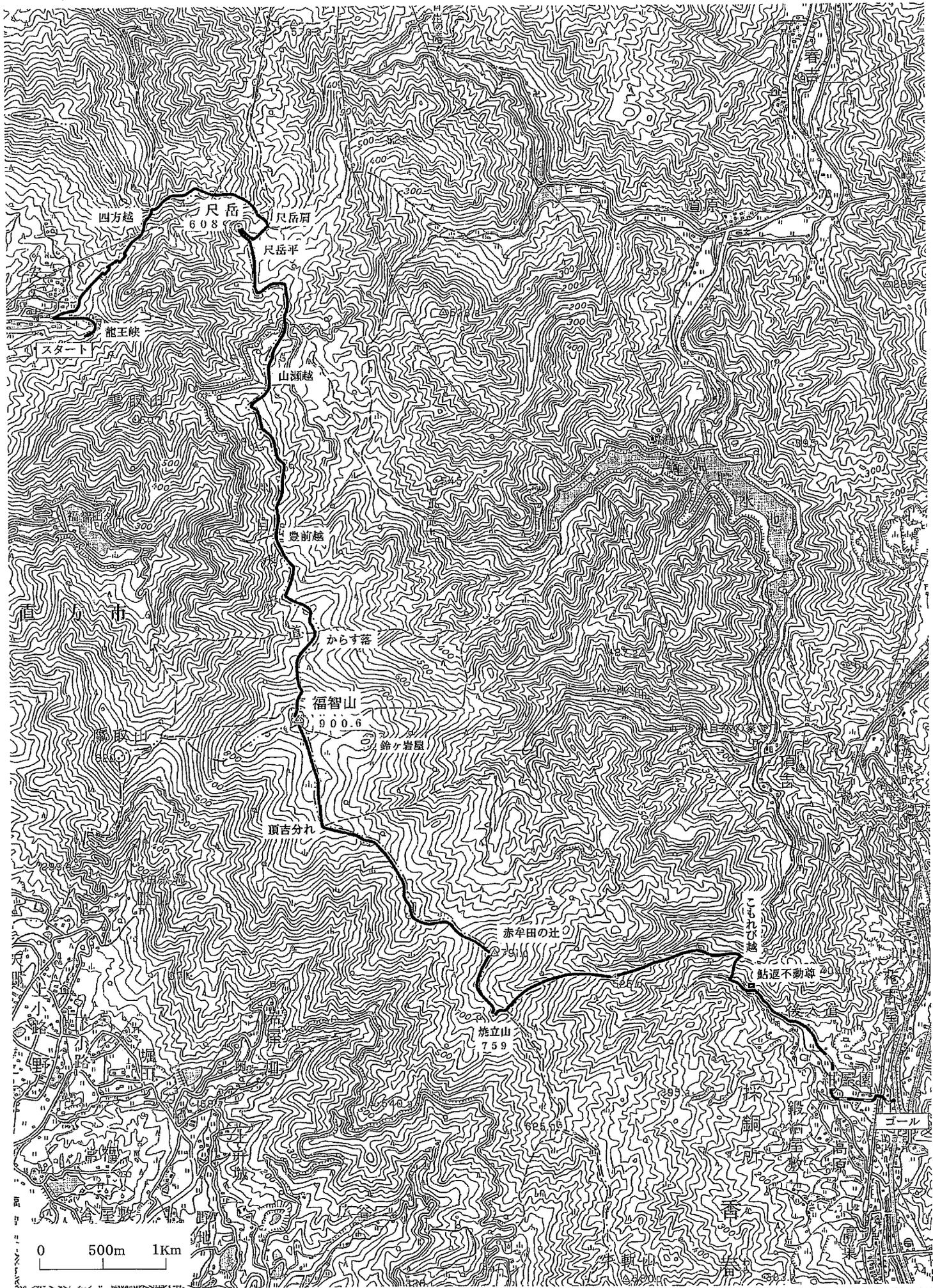
標高約370mの吹上峠から15分程の急登で発達した石灰岩柱の中を縫って進む道になり、^{おおへらやま}大平山（586.5m）を経て羊群原の展望が素晴らしい道を行く。北側には、石灰岩の急崖を落とす塔ヶ峯（582m）と、巨大なドリーネ「大穴」が見え隠れしている。約40分で本日の最高点である貫山^{ぬきさん}（711.6m）に至る。展望のよい小ピーク（530m）まで進み、引き返して苅田町側に下ると青龍窟。水位の変動によって三層の水平洞が形成され、規模も造形も平尾台随一とみられるが、観光入洞の設備は無い。登り返して滝を掛ける小さなドリーネの中を通過し、石灰岩台地にあっては貴重な広谷湿原を横断すると車道に出る。途中羊群原の核心部を間近に眺め、目白洞や千仏洞への道を分け、ひと歩きで終点の自然観察センターに出る。近くには30mの縦穴を持つ牡鹿洞がある。





この地図は、国土地理院基図の資料を基に、同院発行の基図(比例尺1:25,000) (地図院版)を複製したものである。(承認番号 平20第4号 第574号)

※ 第三者在場する場合にこの国土地理院版の複製を許可されません。



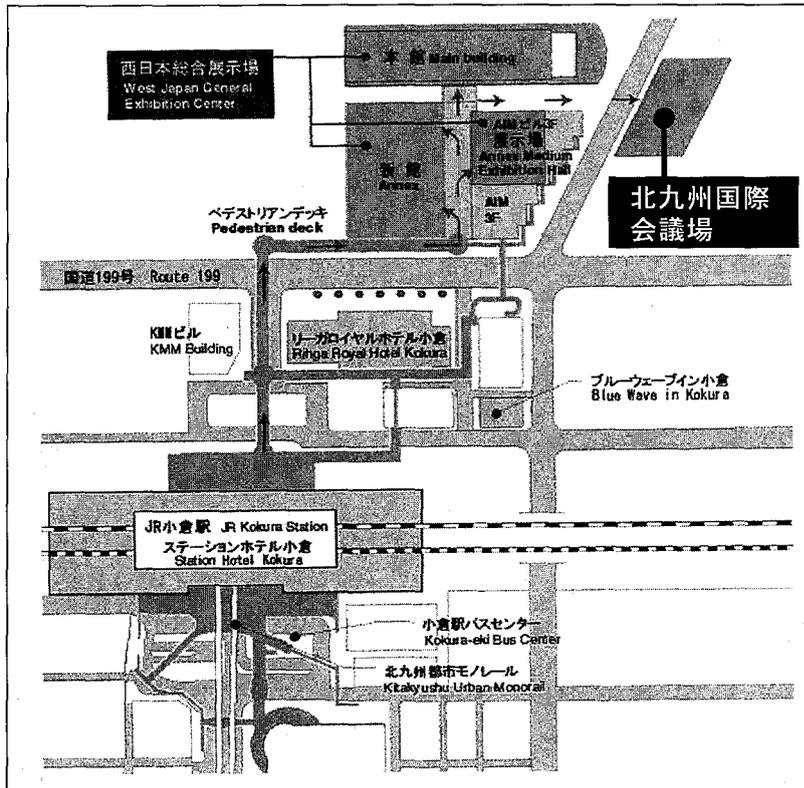
「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院長発行の数値地図50000（地図図体）を複製したものである。（承認番号 平22第4号、第574号）」
 ※ 第三者が複製する場合には国土地理院長の承認を得なければならない。

Fコース (秋の峰入り福智山)

国土地理院 1:50,000 行橋 120%

■ 開会式会場案内

北九州国際会議場

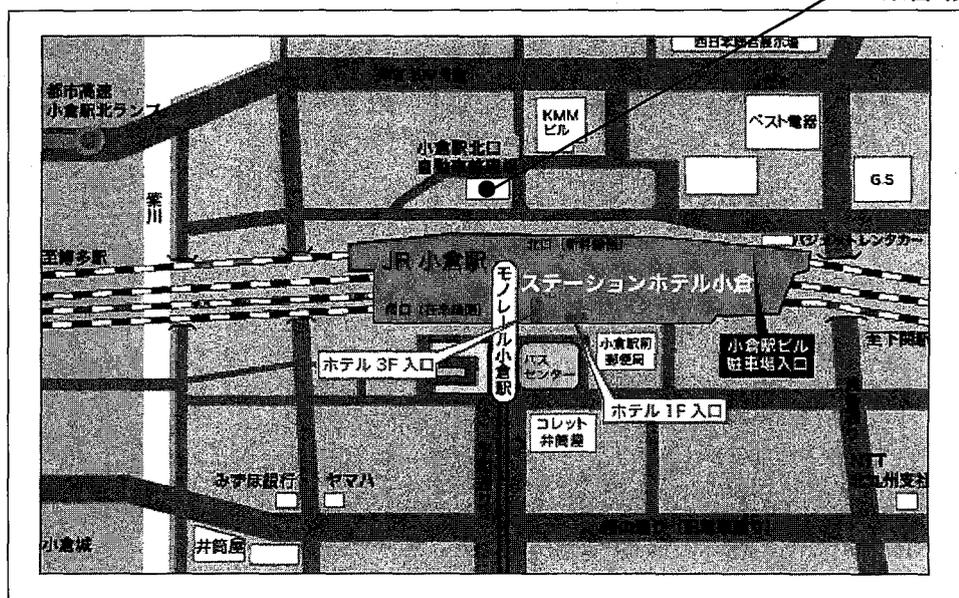


- JR
JR小倉駅より徒歩5分
- 車
北九州都市高速道路
(小倉駅北ランプより1分)
(足立ランプより8分)
- 飛行機
北九州空港より路線バス約40分
(小倉駅バスセンター下車)
車約30分
- フェリー
日明港より車10分
新門司港より車30分
砂津港より徒歩2分

〒802-0001
北九州市小倉北区浅野3丁目9-30

■ 閉会式会場

小倉ステーションホテル



オプションルツアー
集合場所

〒802-0001 北九州市小倉北区浅野1丁目1-1 TEL 093-541-7111

観光オプションツアーのご案内

株式会社タイガートラベル
 北九州市小倉南区新道寺469-1
 TEL 093-453-1717
 FAX 093-453-1555
 取扱主任者：壹 岐 政 信

A 九州国立博物館と太宰府天満宮参拝 【日帰り旅行】

日次	期 日	行 程
1	10/30 (日)	9:00 小倉駅北口 ― 都市高速・八幡IC ― 古賀SA (休憩) ― 福岡IC・都市高速 ― 10:30~12:00 九州国立博物館「大契丹蒼天の王朝美(仮称)」 ― 12:10~13:30 太宰府天満宮参拝 ― 13:45~14:45 太宰府  【昼食】(和定食) ― 15:30頃 福岡空港 ― 都市高速・福岡IC ― 17:00頃 ― 八幡IC・都市高速 ― 小倉駅北口

お一人様 8,500円

〈旅行条件〉 ※ 募集人員 40名 最少催行人員 20名
 添乗員同行
 昼食1回、入場料含む

B 水郷柳川と美人の湯 嬉野温泉 【1泊2日】

日次	期 日	行 程	宿 泊
1	10/30 (日)	9:00 小倉駅北口 ― 都市高速 ― みやま柳川IC ― 柳川(川下り・昼食・散策) 11:15~14:15 名物:鰻せいろむし 15:30~16:00 幸姫酒造(見学・試飲) ― 16:10~17:00 祐徳稻荷神社参拝 ― 17:30頃 ホテル	〈嬉野温泉〉 茶心の宿 和楽園又は 同等クラス 朝―昼○夕○
2	10/31 (月)	9:00 ホテル ― 道の駅(休憩) ― 11:00~12:00 旧高取邸 ― 12:10~13:10 唐津(昼食) ― 炭鉱王の旧宅 名物:いかの活き造り定食 15:00頃 西九州道 ― 福岡空港 ― 福岡IC ― 都市高速 ― 北九州 17:45頃	朝○昼○夕―

お一人様 26,800円

〈旅行条件〉 ※ 募集人員 40名 最少催行人員 25名
 添乗員同行
 朝食1回・昼食2回・夕食1回、入場料含む

第50回全日本登山体育大会参加申込書

平成23年 月 日

※コピーを2部お取り下さい。1部は保管、もう1部は所属山岳連盟(協会)へ送付して下さい。

記載責任者名 (参加者代表)		役職		所属山岳会名称
住所 (書類送付先)	〒			
連絡先	TEL		FAX	携帯

★送付先

(株)タイガートラベル

〒803-0186

北九州市小倉南区新道寺469-1

TEL 093-453-1717

FAX 093-453-1555

担当：^{イキ}壹岐・荒木(壹岐不在の時)

	フリガナ 参加者名	住所	男女	年齢	生年月日	希望コース ※①		来県交通手段 ※②	OP 観光	航空券 ※③
						第一希望	A	車・JR		要・不要
例	フクオカ タケオ 福 岡 岳 男	〒 803-0180 北九州市小倉南区平尾台1-1	男	58	T S H 27年1月1日	第二希望	C	車・JR 航空機+JR	A	要・不要
1		〒				第一希望		車・JR 航空機+JR		要・不要
						第二希望				
2		〒				第一希望		車・JR 航空機+JR		要・不要
						第二希望				
3		〒				第一希望		車・JR 航空機+JR		要・不要
						第二希望				
4		〒				第一希望		車・JR 航空機+JR		要・不要
						第二希望				
5		〒				第一希望		車・JR 航空機+JR		要・不要
						第二希望				
6		〒				第一希望		車・JR 航空機+JR		要・不要
						第二希望				

※① 必ず第二希望もお書きください ※② 北九州への利用交通手段に○印をお付け下さい。 ※③ 北九州空港まで航空機を利用希望の方はご記入下さい。当社より連絡させていただきます。(5名以上) ※6名以上で参加申し込みの場合はこの用紙をコピーしてご使用ください。

裏面

第50回全日本登山体育大会 参加費等振込み明細書

(株)タイガートラベル 行き

振込控え添付欄

振込明細欄			
項目	単価	数	合計
参加費	33,000		
振込金額			

領収書発行依頼書	
宛名	
金額	
但し書き	
宛名	
金額	
但し書き	
送付先	〒